

2.シーリング材の選び方

表 2.8 適材適所表 (構法・部位・構成材とシーリング材の適切な組み合わせ)

この表は一般的な目安であり、実際の適用にはシーリング材製造業者に問い合わせを行い十分に確認することが必要である。特に、ポリイソブチレン系については留意する。

目地の区分	構法・部位・構成材		シリコン系(※4)			ポリイソブチレン系(※6)	変成シリコン系		ポリサルファイド系		アクリルウレタン系		ポリウレタン系		アクリル系
			2成分形 低モジュラス(※5)	1成分形 高モジュラス(※5)	1成分形 低モジュラス(※5)		2成分形	1成分形	2成分形	1成分形	2成分形	1成分形	2成分形	1成分形	
カーテンウォール	ガラス・マリオン方式		ガラス回り目地	○		○	△								
			方位無目ジョイント	○			△								
	金属パネル方式		ガラス回り目地	○		○	△			△(※7)					
			パネル間目地	○(※8)			△	○		△					
PCaパネル方式	石打込みPCa		PCaパネル間目地				△	○		○		△			
	タイル打込みPCa		窓枠回り目地				△	○		○		△			
	吹付塗装PCa		ガラス回り目地	○(※8)		○(※8)	△			△(※7)					
各種外装パネル	ALCパネル(スライド、ロッキング、[カバープレート](※1)構法(※2))		ALCパネル間目地				△	△		△	○	○	○	△(※9)	
			窓枠回り目地				△	○		○	△		△(※10)		
	塗装アルミニウムパネル(強制乾燥・焼付塗装)		パネル間目地	○(※8)		○(※8)	△	○		△					
	塗装鋼板・ほうろう鋼板パネル		パネル間目地・窓枠回り目地				△	○		○					
	GRC押出成形セメント板		パネル間目地				△	△		△	○	○	△		
			窓枠回り目地				○	△		○	△				
	窯業系サイディング		パネル間目地				△(※11)	△		△	△			○(※12)	
			窓枠回り目地				○(※11)	○		△	○			○(※12)	
	ガラス回り		ガラス回り目地	○(※8)	○	○	△			△(※7)					
	建具回り		水切、血板目地	○(※8)			△	○							
金属製建具	工場シール(※13)		シーリング材受け					△(※13)		○		△			
	金属笠木		笠木間目地	○(※8)			△	○							
	石材笠木		笠木間目地				△	○		○					
	PCa笠木		笠木間目地				△	○		○					
RC壁	構造スリット		構造スリットの目地				△	△		△	○	△			
							△	○		○					
ノンワーキングジョイント	RC壁、壁式PCa		打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地				△	△		△	○	○	○		
			窓枠回り目地				○	○		○	△		△(※10)		
	石張り(湿式) (石打込みPCa、石目地を含む)		石目地					△(※14)		○	○				
			窓枠回り目地				○	○		○	△				
	タイル張り (タイル打込みPCaを含む)		タイル目地				○(※15)	○		○	○				
			タイル下躯体目地				△			△			○	○	
外装パネル	ALCパネル (挿入筋(※1)・ボルト止め構法)(※2)		ALCパネル間目地				△	△		△	○	○	○	○	
			窓枠回り目地				○	○		○	△		△(※10)		
			窓枠回り目地				△	△		△	○	○	○		
							○	○		○	△		△(※10)		
外壁以外の目地	屋根・屋上		シート防水等の端末処理							○					
			瓦の押さえ(台風被害の防止)		○										
			金属屋根の折り曲げ部のシール		○						○				
	水回り(※16)		浴室・浴槽(耐温水性必要部)		○										
			キッチンキャビネット回り		○										
			洗面化粧台回り		○										
			排気口回り・貫通パイプ回り (設備機器用スリーブ等含む)	塗装あり(※3)				△	△		△		○	○	
				塗装なし				○	○		○				
			バルコニー等手すりの支柱脚回り	塗装あり(※3)				△	△		△		○	○	
				塗装なし				○	○		○				
		避難ハッチ回り	塗装あり(※3)				△	△		△		○	○		
			塗装なし				○	○		○					
その他		ポリカーボネート・アクリル板			○(※17)										

○:適用可 △:適用に際して事前検討要

(※1)JASS21(ALC工事)で挿入筋構法・カバープレート構法は現在採用されていないが、補修・改修で適用。
 (※2)50%引張応力0.2N/mm²以下の材料。
 (※3)塗装性の事前確認が必要。
 (※4)SSG構法用の構造シーラントは対象外。SSG構法に適用するシーリング材はJASS17(ガラス工事)に従う。
 (※5)50%引張応力の区分:
 低モジュラス<0.2N/mm²≤中モジュラス<0.4N/mm²≤高モジュラス。
 (※6)接着性等の事前検討が必要。
 (※7)シリコン系に比べ耐用年数が短い。
 (※8)汚染性に注意。
 (※9)経時で柔軟性が低下するものがあるので事前検討が必要。スライド構法の横目地、カバープレート構法の横目地、窓枠回り目地には適用できない。
 (※10)耐候性の事前確認が必要。
 (※11)サイディング用の応力緩和形。
 (※12)サイディング用。
 (※13)シーリング材受けを用途とした材料。
 (※14)高モジュラス品。
 (※15)薄層部が残らないように注意する。
 (※16)防かびタイプを使用。
 (※17)脱アルコール形。